

◇-----◇
下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2011. 11. 14

下水道機構の『新技術情報』 第 21 号

(財) 下水道新技術推進機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

◇-----◇

今年も流行語大賞・候補語が発表されましたね。もうそんな時期なのですね。今年は 60 語がノミネートされているそうで、内容を見てみるとやはり震災関連の言葉が多い中で、「マルマル、モリモリ」や「なでしこジャパン」など心がほっこりするような言葉もノミネートされていました。さて、大賞はどの言葉になるのでしょうか？ 12月1日に発表されるそうです。

さて、今週も機構メールマガジン『新技術情報』第 21 号をお届けします。

業務に、Tea Break にご活用ください。

■□■□トピックス□■□■

★インフォメーション

・ 11 月 10 日、国土交通省下水道部の植松町村下水道対策官をゲストにお迎えし、「下水道事業予算」をテーマに技術サロンを開催しました。

・ 10 月 15 日(土)～19 日(木) WEFTEC2011(米国ロサンゼルス)参加報告【第 3 弾】

・ G C U S 下水道海外ビジネス展開共同研究 海外向け技術紹介英文パンフレットを HP に掲載しました。

・ HP 専用サイトを充実！「下水道展パネル、リーフレット」、「技術サロン資料」を掲載！

★機構の動き

・ 今週は、第 55 回新技術セミナー東京会場(日時：11 月 18 日(金) 13:00～16:45、テーマ：「下水汚泥のエネルギー化技術について」、場所：虎ノ門・発明会館)が開催されます。

★Tea Break

・ クリスマスまで・・・(資源循環部 M さんからの投稿です)

★みなさまからのコラム

・ 掲載情報募集中！

機構の新技術情報でお伝えしたい情報をお持ちの方は本コラムをご活用ください。

★国からの情報

・11月11日付け下水道ホットインフォメーションです

.....
インフォメーション (最新の話です)
.....

●11月10日、国土交通省下水道部の植松町村下水道対策官をゲストにお迎えし、「下水道事業

予算」をテーマに技術サロンを開催しました。

ゲストの植松対策官は、前職の企画専門官も合わせると下水道部在席5年強。下水道部を熟知する一人です。職名からは分かりにくいのですが、下水道事業予算の部内とりまとめ、省内調整、財務省折衝等の実務を担う中心的な存在です。

ご講演内容は、平成24年度予算概算要求を中心に今年度予算と補正予算についてでした。24年度概算要求は通常分が対前年度0.9、日本再生重点化措置を入れて1.05。このほか東日本大震災からの復旧・復興対策に係る経費等が要求されています。下水道部の重点事項は、官民連携をキーワードに、「東日本大震災からの復興」、「自然エネルギー・再生可能エネルギーの活用促進」、「戦略的な維持管理の実現」、「水ビジネスの国際展開」。新規要求事項として、「下水道総合地震対策事業の拡充」、「震災復興下水道未利用エネルギー活用事業の創設」が盛り込まれています。復興交付金については法律補助で社会資本整備交付金と同様のスキームで検討が進められているそうです。原案では効果促進事業は8割補助と基幹事業よりも手厚くなっています。

下水道事業では、地盤沈下によって新たに必要となるポンプ施設や、被害地域の耐震化、太陽光発電の新設等が基幹事業として想定されているそうです。国庫補助金に社会資本整備交付金、地域自主戦略交付金等、そして今回新たに復興交付金の創設と、近年、予算は多様化してきています。予算を最大限活用していくためには勉強が欠かせません。

さて、次回の技術サロンは12月8日の第二木曜日。時間は17:00から18:00まで。国土交通省国土技術政策総合研究所下水道研究部の堀江部長をお招きして「アセットマネジメントISO化とGCUSの動き」と題してサロンを開催する予定です。堀江部長はGCUSの運営委員会委員長をつとめられています。下水道に関する国際動向の今を考える場にしたと思っています。

参加申し込みは機構ホームページからお願いします。

→ <http://www.jiwet.jp/school/school-07-299.htm>

●10月15日(土)～19日(木) WEFTEC2011(米国ロサンゼルス)参加報告！【第3弾】

当機構から4名が参加し、下水汚泥からのリン資源化技術開発、下水道設備の診断技術開発、下水道管路の技術開発、浸水対策の技術開発について口頭発表(2人)、ポスター発表(2人)を行いました。その結果報告について4回に渡って、参加した4名の方の参加報

告をお届けしています。

第3弾となる今回は、研究第一部の阿部研究員からの報告です。

=====

EFTEC2011の報告について、今回は阿部が報告させていただきます。

私は開催4日目のポスターセッションで、『局所的な豪雨による被害の軽減対策に関する調査研究』の成果について発表いたしました。私が発表した場所は、口頭発表が行われている会場全体の隅に位置した廊下でして、あまり人通りが少ない場所でした。そのため、そのポスターのセッションを閲覧している人は非常に少なく、私も3時間半のセッションの中で、会話のやりとりをしたのはたったの5人でした。ですが、たった5人との会話のやりとりでも、非常に四苦八苦しました。特に、ニューヨークからいらしていた会社員の方にソフトウェアに関するすどいつっこみ（発端は私の聞き間違いが原因なのですが、、、）を受けまして、なんとか真意を伝えようと思っている最中、『OK! OK!』と言って去られてしまいました。その瞬間から今も自分にもっと英語の力があれば、、ということだけ感じています。ですが、その後も自分の英語の勉強に付き合っただけとその会社員にむりくり話しかけて、レッスンに付き合っただけと結果、筆談とボディランゲージでコミュニケーションを図ることになりましたが、話しのなかで合流改善と浸水対策には非常に興味があるようだということは分かりました。日本で困っていることと同じことを海外でもやはり困っているようです。

海外の下水道事業の現状は、本や雑誌で少し状況を理解した程度ですが、今回の WEF への参加を通して、少しだけ海外の下水道事業を『体感』できた気分です。これまで海外の状況に対しては受け身であり目を向けていませんでした。ですが、これからは海外に対してより目を向けていき、技術面や政策面などの考え方に対して視野を広げていこうと思えます。

●GCUS下水道海外ビジネス展開共同研究 海外向け技術紹介英文パンフレットを HP に掲載しました。

当機構では、民間企業20社と下水道海外ビジネス展開に関する共同研究を実施していますが、日本企業の下水道技術を広く海外へ情報発信するため、10月に海外向け技術紹介英文パンフレット（Japanese Technology of Urban Sanitation Vol.3）を発行しました。

本パンフレットには、GCUSの紹介、技術INDEX、企業の技術紹介、企業の海外拠点一覧などが掲載されていて、10月に開催されたWEFTECで配布したほか今後予定されている国際会議や海外向け展示会・セミナー・研修で配布を予定しています。この度、機構ホームページに掲載しました。

こちらからどうぞ→ <http://www.jiwet.jp/english/gcus/index.htm>

機構ホームページ専用サイト登録者の皆様へのお知らせ

●専用サイトを充実！「下水道展パネル、リーフレット」、「技術サロン資料」を掲載

6月に開始した専用サイトでは、これまで、技術マニュアル、審査証明書などの全文の閲覧等のサービスを実施してきましたが、11月14日(月)から、新たに、各種研修資料や展示資料の閲覧サービスを開始しました。7月に開催した下水道展2011'東京で使用したパネル、リーフレット(当機構の研究成果や地震関連の取り組みについて記載しています。)また、毎月第2木曜日に実施している技術サロンの講演資料(群馬大学大学院 片田教授 「想定外を生き抜く力～大津波から生き抜いた釜石市の児童・生徒の主体的行動に学ぶ～」、東京都下水道局 総務部 松本課長「下水道事業における新たな広報戦略」、国土交通省 河川計画課 五道河川情報企画室長「XバンドMPレーダの整備、活用について」)を掲載いたしました。ご都合がつかず下水道展に来場できなかった方や技術サロンに参加できなかった方は、ご覧いただければと思います。

機構の動き (機構の行事予定です)

◎11月15日(火)第2回水処理新技術実用化評価委員会(場所:福岡市東部水処理センター)

主な議題 現地調査及びNADHシステムなど3件の審議

◎11月17日(水) 13時30分～16時45分

第2回汚泥処理新技術実用化評価委員会(場所:機構8F特別会議室)

主な議題 汚泥ガス化炉施設の性能評価など2件の審議

◎第55回新技術セミナー

11月18日(金)13:00～16:45 東京会場@発明会館

11月25日(金)13:00～16:45 大阪会場@大阪科学技術センター

参加申し込みはこちら→ http://www.jiwet.jp/school/school-02_055.htm

●11月21日(月) 13時30分～17時30分

第2回 管路技術共同研究委員会(場所:G&U技術研究センター(埼玉県比企郡川島町))

主な議題 現地実験及び衝撃弾性波など2件の審議

●11月22日(火) 14時00分～16時00分

第2回 水処理技術共同研究委員会(場所:機構8F特別会議室)

主な議題 平膜を用いた膜分離活性汚泥法、1件の審議

●11月22日(火) 14時00分～16時00分(場所:機構8F中会議室)

第2回 新技術設計手法等共同研究委員会

主な議題 リスク管理監視システム、1件の審議

●11月24日(木) 14時00分～16時20分

第2回 汚泥処理技術共同研究委員会(場所:機構8F特別会議室)

主な議題 最新汚泥焼却炉のN₂O排出量など2案件の審議

★11月15日(火)～16日(水)

第8回 ISO/TC224WG7 リスボン会議(場所:ポルトガル国リスボン市)当研究第一部の森田部長が出席します。

★11月25日(金) 13:30～

防食シートライニング工法協会「第7回技術講習会」(場所:TKP 東京駅ビジネスセンター29H) 当研究第一部の森田部長が出席し、「震災と下水道(仮称)」について講演します。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

●クリスマスまで・・・(資源循環部 Mさん)

1年が過ぎるのは早いもので、あっという間に11月、来月はクリスマスです。クリスマスが近づくこの時期に楽しみなことがあります。それは「シュトーレン」というお菓子です。シュトーレンとは、ドイツのお菓子で、クリスマス前の約4週間の期間に食べます。数年前にはじめて食べたのですが、あまりの美味しさに感動し、毎年、この時期に食べるのが楽しみとなりました。どんなものかという、お酒に漬け込んだドライフルーツ、ナッツ、スパイスをバターがたっぷり入った生地と一緒に焼いたパンに近いお菓子で、表面には粉砂糖がまぶされています。固めのパウンドケーキのような感じで、しっとり、どっしりと重量感がありますが、日持ちがするため、クリスマスまでに少しずつスライスして食べ、熟成が進んでいく過程を楽しむこともできます。(が、美味しいので一気に食べてしまい、熟成させて食べたことがありません!) 子供の頃(?十年前)には見かけなかったのですが、ここ最近、日本でも、この時期の定番として、あちこちのパン屋さんやケーキ屋さんで見かけるようになりました。お店でみかけたら、今日のデザートに、ぜひいかがでしょうか。

みなさまのコラム(皆様からお寄せいただいた情報です)

●掲載情報募集中!

機構の新技术情報でお伝えしたい情報をお持ちの方は本コラムをご活用ください。情報提供はこちらまで→ jiwet@jiwet.or.jp

※原則400字以内。なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としていますが、掲載の可否は当機構にて判断させていただきます。

下水道ホットインフォメーション(2011.11.11付、国からの最新情報です)

送信元: 国土交通省都市・地域整備局下水道部下水道事業課企画専門官 石井宏幸

今日は、'11.11.11。見事に1が並びました。

そういえば、今朝、私のカウンターパート（甲斐犬関係者）の異動情報が・・・。
今年はいろいろありましたが、これからは良いことが続く!?
今週は下水道施設業協会から情報を頂いております。

★★★★★ 今週のラインナップ ☆☆☆☆☆

○第1回 都市における再生水利用に関する検討委員会の開催について【流域管理官】

●第14回「下水道循環のみち研究会」セミナーを開催します【日本下水道施設業協会】

=====

○第1回 都市における再生水利用に関する検討委員会の開催について【流域管理官】

我が国の下水再生水技術は世界の膜シェアの約6割を日本メーカーが占めるなど今後、我が国の水ビジネスの核となる技術として期待されています。一方、海外ではEU、北米、中東、中国等で下水再生水利用技術の導入が積極的に進められており、また一部では標準化に向けた動きが進んでいます。こうした海外の動きをにらみつつ、国土交通省下水道部では、我が国の優位技術である再生水関連技術の国際展開に向けた標準化の取り組みを行っています。

その一環として11月8日、地球規模の水問題解決に貢献し、あわせて我が国の下水再生技術の国際展開並びに国内における適正な再生水利用を推進していくことを目的として「第1回 都市における再生水利用に関する検討委員会」を開催しました。本委員会は委員長である京都大学 田中宏明教授をはじめ学識経験者、自治体、関係団体から構成されており、第1回委員会では再生水の標準化に向けた我が国のこれまでの取り組みや今後の規格案の検討方針等について議論が行われました。

本委員会で得られた成果については日中韓の3国で国際標準化を推進するための「都市における再生水利用に関する北東アジア協力会議」やISO/PC253（下水処理水の灌漑利用のための専門委員会）等の場で積極的に活用していく予定です。

●第14回「下水道循環のみち研究会」セミナーを開催します【日本下水道施設業協会】

横浜市から渡邊部長を講師にお招きし、横浜市の下水道整備の現状と今後の展望についてお話し頂きます。

「排除・処理」から、健全な水・物質循環系を構築する「再生・活用」へと転換していくことを謳った中期計画を軸に、公民連携の視点からお話し頂き、今後の下水道循環のみちを実現するための意見交換の場としたいと思います。

テーマ：「横浜市の下水道事業の現状と展望」

横浜市環境創造局 下水道計画調整部長 渡邊 聡 様

日時：平成 23 年 12 月 16 日（金） 午後 3 時 15 分～5 時 45 分

場所：日本下水道施設業協会 大会議室

東京都中央区新川 2-6-16 馬事畜産会館 2 階

申し込み方法：

施設協ホームページ (<http://www.siset.or.jp/>) から申込用紙をダウンロード
所定の事項を記入の上、FAXにて 12 月 9 日までに。

お問い合わせ：(社) 日本下水道施設業協会 河野（電話 03-3552-0991）

※第 13 回研究会までの講演概要を施設協ホームページに掲載

<http://www.siset.or.jp/contents/?CN=322>

=====

【参考情報】

◆「地下ダム」来年度着工 <11/6 朝日新聞>

http://mytown.asahi.com/toyama/news.php?k_id=17000001111070003

◆震災復旧で初の市民説明会 潮来・日の出、質問相次ぐ <11/7 茨城新聞>

http://ibarakinews.jp/news/news.php?f_jun=13205898760240

◆首都の幹線道路、冠水拡大 タイ洪水、都心混乱の恐れ <11/7 河北新報社>

<http://www.kahoku.co.jp/news/2011/11/2011110701000008.htm>

◆下水道資源化工場の焼却灰、8000ベクレル下回る 栃木 <11/8 MSN 産経
ニュース>

<http://sankei.jp.msn.com/region/news/111108/tcg11110802130003-n1.htm>

◆川崎で首都圏サミット、放射能対策など議論/神奈川 <11/8 神奈川新聞>

<http://news.kanaloco.jp/localnews/article/1111080029/>

◆横浜市の下水汚泥焼却灰、コンテナ保管なら 2 年分 <11/9 MSN 産経ニュース>

<http://sankei.jp.msn.com/region/news/111109/kng11110910580001-n1.htm>

◆地元住民、汚染汚泥搬入に反発ー君津、富津の処分場 /千葉

<http://mainichi.jp/area/chiba/news/20111109ddlk12040103000c.html>

◆下水道事業の手引 平成 23 年版 好評発売中

http://www.suido-gesuido.co.jp/blog/info/2011/06/post_34.html

～ 以上、国からの下水道ホットインフォメーションより～



発行元：財団法人 下水道新技術推進機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方は

こちらから→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせは

こちらから→ jiwet@jiwet.or.jp

